

東千田キャンパス地域連携フロアSENDA LAB設置記念  
広島大学・広島市危機管理室連携公開講座

# 防災カフェで考える、住民ひとりひとりの避難の形

会場 広島大学東千田キャンパス総合校舎L棟5階 地域連携フロアSENDA LAB

日時 2023年5月27日（土）13:00～16:40

受講形態 対面（30名）・オンライン（300名）

受講料 無料

申込 広島大学公開講座→パソコンからお申込みの方はこちらをクリック→

無料講座 申込フォーム

からお申込みください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>



災害の危険性を自分ごととして捉えてもらうためにはどうすれば良いのか、研究者、自治体職員、被災経験者がそれぞれの視点から語り、真に命を守る避難の形を参加者みんなで作ります。

## 広島県の風土と身近にある相乗型豪雨災害の可能性

第1回

13:00~14:00

講師：広島大学防災・減災研究センター長 海堀 正博

広島は比較的雨の少ない地域の一つです。風化の進んだ花崗岩類も多く分布しており、巨石が山頂や斜面にもたくさん見られる独特の景観もあります。斜面の近くや谷出口、谷すじ付近にも家々が多く建てられています。実はこの状態こそが災害の素因の一つとなっています。なぜそうなるのでしょうか？



## 広島市の防災は「たちまち」から！？

第2回

14:10~15:30

講師：（前半）広島市危機管理室災害予防課長 井上 久也  
（後半）カフェ（WITH YOU PLAN）店主 MARKEY

前半 40分

広島市では、市民の皆さんに防災を身近に手軽に取り組んでもらえるよう「たちまち防災」をキャッチフレーズに、避難誘導アプリ「避難所へGo!」の普及など様々な取組を行っています。梅雨の季節に備えて、今からできる防災と一緒に考えてみませんか？

後半 40分

突如おそってくる大災害により人生は大きく変わります。今 自分に出来る事で、災害現場の役に立つ方法を考えましょう。で、考えてみて下さい。  
本当にそれが出来ますか？激変する災害現場はパニックで正常な判断が難しくなります。その間に次々と想定外のダメージが押し寄せてきます。緊急事態に備える為にも、日頃から話し合う事が大切な一歩になります。  
イメージ共有、システムやコミュニティを常に構築できる場所を創りましょう。『生活を救う防災カフェ』を皆さんと一緒に考える場にしたいと思います。

## 広島で考える災害にも強いまちづくり：「情報」の力の使い方

第3回

15:40~16:40

講師：広島大学先進理工系科学研究科（防災・減災研究センター）  
教授 田中 貴宏



たびたび豪雨災害に見舞われてきた広島では、災害に強いまちづくりが求められています。この「災害に強いまちづくり」実現のためには、様々なデータや、地域の皆さんがお持ちの知識や知恵といった、「情報」の活用が有効と考えられます。  
ここでは、「災害に強いまちづくり」に向けて、それら「情報」の集め方や使い方を、事例を交えて、ご紹介したいと思います。

お問い合わせ先  
広島大学防災・減災研究センター（事務室） TEL 082-424-5871